平成28年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	日本語4 (Japanese4)			授業コード	A023353
担当教員名	河野 恵美子			科目ナンバリングコード	A10708
配当学年	1年留学生	開講期	前期、後期		
必修・選択区分	必修	単位数	1		
履修上の注意または履修条件	・「日本語4」は「日本語3」と併せて受講して下さい。 ・日本語能力試験N2合格レベル相当以上であることが単位認定の条件です。 ※N2レベル相当とは、次の基準のいずれかに該当するレベルのことです。 ① 基準1 日本語能力試験N2合格。 ② 基準2 J-TESTのA-Dレベル…1000点中500点以上。 ③ 基準3 BJTビジネス日本語テストJ2レベル相当…800点中420点以上。 ※N1レベル相当とは、次の基準のいずれかに該当するレベルのことです。 ① 基準1 日本語能力試験N1合格。 ② 基準2 J-TESTのA-Dレベル…1000点中650点以上。 ③ 基準3 BJTビジネス日本語テストJ1レベル相当…800点中530点以上。 日本語能力試験N1・N2の既合格者は履修免除の上、単位認定が受けられます。単位認定にあたってはN1レベル合格者は「A」評価、N2レベル合格者は「B」評価となります。 ・受講にあたっては、N1、N2合格者もプレースメントテストは全員受験し、これで50%以上の得点ができない時は「日本語4」を受講しなければなりません。また、N2レベル相当以上で単位認定評価(N1相当が「A」、N2相当が「B」)以上の評価の取得を望む者も受講してください。				
受講心得	・日本語能力試験N2合格レベル相当の認定を受けるためにはそのための心構えを持って、事前準備を進めておくことが大切です。 ・授業は前期は1クラス、後期は能力別3クラス編成で行いますが、評価については共通試験を実施し、共通の基準で評価します。 ・日本語基礎力に課題のある学生についてはサポートタイム(※別科教員が対応)で取り出して学習を手助けします。その他日本語の疑問や質問などがある場合にもこのサポートタイムを利用してください。 ・日本語能力試験N2以上の受験を考えている学生は特別講座である「日本語能力試験対策講座」に参加してください。「日本語4」を終了後も、日本語の勉強は続きます。「日本語能力試験対策講座」は毎学期開講しますので、2年生以降の日本語学習のためにも、ぜひ自主的に参加して日本語能力をさらに伸ばしていってください。				
教科書	『N1読解スピードマスター』(Jリサーチ出版)、プリント教材				
参考文献及び指定図書	『N1聴解スピードマスター』(Jリサーチ出版) 『ドリル&ドリル日本語能力試験N1聴解・読解』(UNICOM Inc.)				
関連科目	日本語1、日本語2、日本語3				

授業の目的	①大学での講義に対応する上で必要な日本語力=アカデミック・ジャパニーズの基礎を身につけることを目指す。 ②能力的目標レベルとして日本語能力試験N2合格レベル到達を目指す。 ③聴解や読解のテーマや話題を理解し、その内容を要約したり意見を述べたりするなど大学での講義を受講する上での実践的な日本語力を身に付ける。
授業の概要	・毎時間「聞くトレーニング」として、講義理解を促すための日本語能力試験N1レベルの聴解課題に、また「読むトレーニング」として、講義レベルのテキスト読解・情報理解を促すための日本語能力試験N1レベルの読解課題に取り組み、語彙・文型・内容理解の基礎力の一層の増強を図る。 ・できるだけ意見発表等、口頭発表の場を設ける。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 : プレースメントテスト	
第 2 週 :	

聞くトレ　聴解課題　課題理解 読むトレ　読解課題　語彙・文型・内容理解（短文）	配布資料 学習課題の時間　30分
第 3 週 ： 聞くトレ　聴解課題　課題理解 読むトレ　読解課題　語彙・文型・内容理解（短文）	配布資料 学習課題の時間　30分
第 4 週 ： 聞くトレ　聴解課題　ポイント理解 読むトレ　読解課題　語彙・文型・内容理解（短文）	配布資料 学習課題の時間　30分
第 5 週 ： 聞くトレ　聴解課題　ポイント理解 読むトレ　読解課題　語彙・文型・内容理解（短文）	配布資料 学習課題の時間　30分
第 6 週 ： 聞くトレ　聴解課題　概要理解 読むトレ　読解課題　語彙・文型・内容理解（中文）	配布資料 学習課題の時間　30分
第 7 週 ： 聞くトレ　聴解課題　概要理解 読むトレ　読解課題　語彙・文型・内容理解（中文）	配布資料 学習課題の時間　30分
第 8 週 ： 聞くトレ　聴解課題　即時応答 読むトレ　読解課題　語彙・文型・主張理解（長文）	配布資料 学習課題の時間　30分
第 9 週 ： 聞くトレ　聴解課題　即時応答 読むトレ　読解課題　語彙・文型・主張理解（長文）	配布資料 学習課題の時間　30分
第10週： 聞くトレ　聴解課題　統合理解 読むトレ　読解課題　語彙・文型・統合理解	配布資料 学習課題の時間　30分
第11週： 聞くトレ　聴解課題　統合理解 読むトレ　読解課題　語彙・文型・統合理解	配布資料 学習課題の時間　30分
第12週： 聞くトレ　聴解課題　統合理解 読むトレ　読解課題　語彙・文型・情報検索	配布資料 学習課題の時間　30分
第13週： 聞くトレ　聴解課題　課題理解・ポイント理解 読むトレ　読解課題　語彙・文型・内容理解（短文）	配布資料 学習課題の時間　30分
第14週： 聞くトレ　聴解課題　概要理解・即時応答 読むトレ　読解課題　語彙・文型・内容理解（中文）	配布資料 学習課題の時間　30分
第15週： 期末試験(全クラス共通問題JTEST；A-Dレベル問題＜聴解＞)	配布資料 学習課題の時間　30分
第16週： 期末試験 期末試験(全クラス共通問題JTEST；A-Dレベル問題＜読解・文法＞)	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	「複数クラス方式」
	（3）アクティブ・ラーニング	

地域志向科目	
備考	能力別2クラスで授業は行いますが、期末試験は共通問題で実施します。

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	①自分の抱える日本語能力の弱点に気づき、自分なりに問題解決に向けて取り組めるようになる。
【知識・理解】	②日本語能力試験N2合格レベルに達すること。 ③J-TESTのA-Dレベルで(1000点満点中)500点以上の得点に達すること。 ④BJTビジネス日本語テストのJ2レベルで(800点満点中)420点以上の得点に達すること。
【技能・表現・コミュニケーション】	⑤幅広い場面で自然なスピードで、まとまりのある会話や話、ミニ講義などを聞いて内容を理解し、要旨を把握したり、それを伝えることができる。
【思考・判断・創造】	⑥幅広い話題の文章や論理的にやや複雑な文章、抽象度の高い文章を読んで、文章の構成や内容を理解できる。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。				
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	80点	10点	10点	
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。				
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。				

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	原則として、毎回、授業で扱う「読むトレ」「聞くトレ」練習課題に関する語彙・文型・内容理解、そのテーマに関した宿題を出しますので、かならず提出してください。達成水準の目安は以下の通りです。 ［Sレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 ［Aレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 ［Bレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 ［Cレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。

発表・その他 （無形成果）	2～3人のグループごとに、授業で扱う「読むトレ」「聞くトレ」練習課題の中の語彙・文型・内容理解、そのテーマに関した発表活動を行います。達成水準の目安は以下の通りです。 ［Sレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 ［Aレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 ［Bレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 ［Cレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。